

## 今号のTOPICS

- 第9期総会を開催
- JAISA 新役員体制
- 新規入会企業のご紹介
- 自動認識市場規模調査報告書発刊
- 基礎知識セミナーのご案内
- 資格認定講習・試験のご案内
- 展示会開催のご案内
- 事務局だより ほか

## 第9期総会を開催

2019年5月22日(水)、品川プリンスホテルにて、第9期総会を開催。2018年度の事業報告及び決算案の審議と、理事の選任を審議、承認された。また、2019年度の事業計画及び予算についての報告が行われた。



第9期総会の模様

### 《2つの議案を審議・承認》

16時00分の定刻に至り、古村専務理事の開会宣言に続き、春山会長の挨拶があり議長として議事を進めた。

正会員117社中93社より議決権行使書を頂き出席社は33社であった。議事録署名人は、出席会員の中から、NECプラットフォームズ株式会社 大庭 敏幸氏と、凸版印刷株式会社 大井 伸二氏が満場一致で選任された。

### ■承認された総会の議案

【第1号議案】 定款第44条第2項に基づく2018年度の事業報告書及び収支決算書について

2018年度事業報告書及び収支決算書について事務局から詳細な説明がなされた。その後、小森谷監事が監事を代表し、適法かつ適正である旨の監査報告を行った。同議案は全員一致をもって承認可決された。

## 【第2号議案】 定款第24条1項に基づく理事・監事の選任について

議長より理事19名（重任14名、新任5名）、監事2名（重任2名）について議場に諮り、全員一致をもって承認可決された。新任理事は、有馬 史郎 氏、菅 清二 氏、中川 弘靖 氏、西田 義則 氏、武藤 健 氏。

総会後の2019年度第1回理事会にて、代表理事会長に池田 隆之氏、代表理事副会長に西田 浩一 氏、副会長に春山 安成 氏、専務理事に古村 浩志 氏、常務理事に武藤 健 氏が選任された。

2019年度役付役員		
代表理事会長	池田 隆之 氏	東芝テック(株)
代表理事副会長	西田 浩一 氏	サトーホールディングス(株)
副会長	春山 安成 氏	(株)マーストーケンソリューション
専務理事	古村 浩志 氏	日本自動認識システム協会
常務理事	武藤 健 氏	日本自動認識システム協会

理 事				五十音順
荒木 勉 氏	東京理科大学	有馬 史郎 氏	NECプラットフォームズ(株)	
市野 将嗣 氏	電気通信大学	岡田 幸紀 氏	アイメックス(株)	
小沢 慎二 氏	慶應義塾大学	菅 清二 氏	(株)ウェルキャット	
久野 伸 氏	(株)日立製作所	佐藤 誠 氏	東芝テック(株)	
塩川 恵一 氏	(株)リコー	中川 弘靖 氏	(株)デンソーウェーブ	
西田 義則 氏	凸版印刷(株)	平本 純也 氏	アイニックス(株)	
宝代 将人 氏	(株)フェニックス	松森 邦彦 氏	富士通フロンテック(株)	

監 事			
小森谷 豊 氏	税理士法人レインボー	住吉 義勝 氏	オカバマーケティングシステム(株)

## 【事務局報告】 2019年度事業計画書及び収支予算書について

事務局より2019年度の事業計画及び収支予算についての報告が行われた。

16時30分に総会は閉会された。



## ■ 多くのご来賓、会員企業が集う、第9期総会懇親会

17時から、会場を移して懇親会を開催した。

はじめに、主催者を代表して、池田新代表理事会長が、協会の市場調査では自動認識市場の成長が加速しており、今後の目指すべき未来社会「Society5.0」「Connected Industries」の実現に向けても自動認識技術がますます重要な役割を果たすと期待される中、当協会が自動認識活用の推進役となり共創・協調可能な環境整備や市場創出の活動を積極的に進め、「令和」の新時代に相応しい活力のある協会を目指したい、と挨拶した。

続いて、ご来賓を代表して経済産業省 製造産業局 産業機械課 課長補佐 山下龍夫様より、AI、IoT、ビックデータなどの出現により製造業を取り巻く環境も大きく変化していく中、自動認識技術への期待も大きく、皆様にはこの社会の流れをチャンスととらえ、競争力の強化、新市場の創出、革新的ソリューションの提案、などにより進化するモノづくりへの対応を進めることを期待する、とのご挨拶を賜った。

その後、西田浩一代表理事副会長の発声で乾杯し、開宴した。

懇親会には、ご来賓、会員をあわせて200名以上が参加。和やかな雰囲気の中、情報交換や歓談をいただいた。

宴もたけなわのころ、新規入会企業、新任理事の紹介が行われ各々ご挨拶をいただいた。



経済産業省 製造産業局 産業機械課  
課長補佐 山下 龍夫様



西田代表理事副会長



池田代表理事会長



古村専務理事



新規入会企業の皆様



懇親会の模様

## 2018年度 新規入会企業のご紹介(入会順)

## RFルーカス株式会社

取締役 浅野 友行 様

## 会社概要

当社は2015年に創業し、UHF帯RFIDによる位置特定技術を軸に、AIやロボットなど最新テクノロジーとRFIDを組み合わせた高度なソリューションを開発、提供しています。2018年後半からソフトウェアを中心に事業展開を開始し、アパレルの在庫管理・探索、その他幅広い業種における資産・物品管理に導入事例が増えてきています。当社はRFIDと最新技術の融合を通じて、テクノロジーの可能性を広げ、モノとヒトの所在と移動をデータで見える化することで、最適な管理と資源の有効活用を目指します。

## 当社の自慢

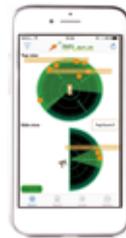
## UHF帯RFIDタグの水平・垂直位置を特定するレーダーアプリ「P3 Finder」

当社は、iOSまたはAndroid搭載のハンディリーダー向けに、P3 FinderというRFIDタグの正確な位置を特定するアプリを開発しました。探索したい複数タグの水平・垂直位置をレーダー上に表示させることができます。電波位相情報時系列解析と呼ぶ特許技術が正確な位置特定を可能としています。

## RFIDタグ付の物品の通過を検知して入出庫を自動管理「P3 Mapper / AI」

マット型アンテナを倉庫やバックヤードの出入口に設置することで、RFIDタグの付いた物品を検知して入出庫を自動管理します。電波位相情報とAI解析を組み合わせることで、ゲートを不要としたソリューションを実現しています。

## P3 Finder SDK



## P3 Mapper/AI



## 株式会社HAPPY PRICE

代表取締役 小林 裕昌 様

## 会社概要

当社は時計・ジュエリー・ブランド品などの高単価商材のリユース分野で、主に業者様向けの卸販売を主事業としており国内をはじめ香港・ロサンゼルスにも拠点を構え海外の業者様にも広く販売させていただいております。関連会社では上記商材の業者向けオークションを開催しており、世界中の相場情報が集まってくる環境にあります。いち早く相場状況を業界内にて提供を開始させていただき大変好評いただき、比較的システム化が遅れていると言われる同業界内でもシステムへの先行投資を進め現在他社様にもシステムを提供できるまでになりました。

## 当社の自慢

いち早くRFIDに目を付け現在関連会社であるオークション主催企業においては全ての商品の入庫から出庫までを独自のシステムやアプリケーションによりRFIDにて管理しております。

現在RFIDを利用した検品や入出庫のシステムを汎用的に改良し、他社様へ提供する準備を進めております。

すでに国内外の同業者様をはじめ、異業種の企業様からも当社開発のRFIDソリューションを活用したいと引き合いをいただいております。現在開発を完了しており販売を進めています。



会社外観

## テュフズードジャパン株式会社

COM事業部ENE部 部長 高橋 勝仁 様

### 会社概要

テュフズードは、ドイツに本社を置く国際的な第三者認証機関であり、幅広い分野において、認証、監査、試験、評価サービスを提供しております。日本法人であるテュフズードジャパン株式会社では、製品安全、EMC/無線、自動車、鉄道、医療機器、マネジメントシステム、化学物質規制、食品安全などに対応する試験・認証・監査・トレーニングサービスを提供しています。世界市場にアクセスするための手助けやリスクマネジメントを提供し、お客様のグローバル市場での競争力強化をサポートしています。

### 当社の自慢

当社は総務省から電波法に基づく登録証明機関、電気通信事業法に基づく登録認定機関として認可を受け、特定無線設備や高周波利用設備の試験・認証、総合通信局への届出代行などを行っています。(登録証明機関:011)

また、当社は日本初のEMV 認定試験所としてICカードリーダー/ライター、スマートデバイス、ATM等のベンダー様をサポートしており、EMVCo、Visa、Mastercard、JCB、American Expressの仕様に基づき、認証試験としてハードウェア及びソフトウェアの試験を実施しております。また決済業界における試験所としては20年の経験と高い技術力で認知され、国内のカードビジネスに関連するお客様への技術サポートも行っています。



電波暗室



クレジット決済端末

## 東京吉岡株式会社

オートID部 部長 会田 裕一 様

### 会社概要

当社は創業55年目を迎え、主にアパレル資材（ブランドネーム、タグ、洗濯ネーム等）を取り扱っております。RFIDはアパレル業界ではいち早く2012年から本格的にRFIDタグの製造、印字・エンコードサービスを行っております。お客様からのご要望に基づいて、豊富な種類のインレットの選択からエンコード、デリバリー体制等、お客様に合わせてご提案させていただいており、セレクトショップ様始め、特にアパレル小売り企業様に多くの実績を積み上げております。

### 製品品質

- ・世界トップメーカーの信頼度の高い、リーズナブルなインレットを使い、お客様に合わせたRFIDタグをお客様に供給。
- ・当社印字・エンコード体制はすべて自社体制をとっており、印字・エンコード、検品体制は常に改善を試み、お客様に安心・安全をお届けしております。

### 生産・デリバリー体制

・ICタグへの印字・エンコードは東京・上海と自社2拠点で小ロット用、大ロット用高速印字・エンコード機を十数台取り揃えており、あらゆるロット、スピードに対応できる生産・出荷体制を整え、短納期・小ロット・低価格でミスなし、お客様負担なしで対応可能です。

### サービス

・RFIDを使い、工場から倉庫ロジスティクス・店舗、全体のサプライチェーンの効率化、改善のお手伝いをさせており、導入検討、インレイの選択、からご提案させていただきます。



アパレル資材製品

## 株式会社アートファイネックス 営業統括部東京営業部 サブマネージャー 池田 岳 様

### 会社概要

会社名	株式会社アートファイネックス (ART Finex Co.,Ltd.)		
代表者	代表取締役 中村 隆治		
設立	2011年11月1日 ※会社分割により新設		
資本金	5,000万円		
事業内容	RFID 製品及び組込み系の開発・販売およびコンピュータシステムの開発		
本社所在地	〒916-0037 福井県鯖江市上河端町第6号1番地33	TEL	0778-54-8085
東京支社	〒101-0047 東京都千代田区2丁目15番9号 TheKANDA282 5F	TEL	03-3526-3870
URL	<a href="http://artfinex.co.jp">http://artfinex.co.jp</a>		
社員数	24名 2019年4月現在 (アートグループ合計: 472名)		

### 当社の自慢

当社設立以前の2002年から、RFID関連事業に注力して事業を展開しています。

主な事業は以下の3つです。

- ① RFID・無線機器を中心とするモジュール製品開発
- ② RFID・無線機器と接続する周辺機器の製品開発
- ③ RFID・無線機器を活用したソリューションの提供

自社RFID及び無線機器の製品、そして豊富なシステム構築経験を柱に、現在はソリューション事業を推進しています。HF帯/UHF帯のRFID製品をワンストップでご提供できる、数少ない国産RFIDメーカーです。



## 株式会社 日本ラベル

営業2課 リーダー 平山 康寛 様

### 会社概要

当社は、創立40周年を迎えるシールやタグ類に特化した特殊印刷会社です。当社は、シールの開祖と言われる「平山秀山堂」と2003年に合併し「匠の技術」への深いこだわりと、「新しい技術」への挑戦を常に忘れない気概を持ち、「人と人を繋ぐコミュニケーションのお手伝い」を理念としております。

### 当社の自慢

SDGSの活動として森林保護の為の世界基準FSC認証や、日本の印刷業界の環境基準GPマークをいち早く取得し、環境対策に力を入れています。

ラベル印刷会社としては、日本では数少ない「FSC認証マーク」を印刷物上に表示して製作出来る会社です。また種々の加工機と各種のデジタル印刷機、経験豊富なデザイナーが在籍し、コンセプト考案からデザイン、試作パリエーション等でも実績があり、世界最大飲料メーカー等からもご注文を頂いております。

更に、大型グラフィックス施工でバスラッピングや内・外装等の広告、販促ツールにも実績が豊富にあり、シールから大型施工まで一貫して承ることが出来ます。

香港の支店からは大量安価な製品供給も可能です。



GPマーク FCF 認証マーク  
及び対象製品例



ラベル製造設備



製品例

## ユタカ電気 株式会社

システム営業課 課長 新見 悟志 様

### 会社概要

ユタカ電気は、“想像を創造に”をモットーとして、皆様のお役に立つ電気関連製品の企画・研究・開発・製造に日々努めております。より高性能・高品質を目指すために皆様からのニーズを大切に、設計から製造・販売・保守に至るまでの全工程をワンストップでご提供致します。

### 当社の自慢

- ・ICカード・バーコードでの温浴・健康施設・ゴルフ場でのキャッシュレスシステムを全国展開しております。
- ・指静脈・虹彩認証での入退管理システムを食品工場を中心にデータセンタ・オフィスビルに導入しております。
- ・備品の貸出し及び返却の管理を目的としたICカード認証のストレージキャビネットシステム「ストキャビ」。
- ・仕様・価格などお客様のご要求に対し、最善のバーコードリーダをご提案しております。また評価用機材の貸出し及び技術対応など安心のサポートもセットで供給致します。



虹彩認証入退装置 EF-45



キャッシュレスバーコードリーダ GBR-30C



QRコード読取対応定置式二次元リーダ Magellan 1100i

## 株式会社 大和コンピューター

NB推進本部RFIDソリューション部 部長 奥元 健一 様

### 会社概要

当社は1977年に設立、基幹系業務アプリケーション開発を主業務としている企業です。近年では教育事業向けASPサービス、健康増進施設向けASPサービスなど新たな分野への事業拡大を進めています。基幹系業務アプリケーション開発で蓄積した業務改善ノウハウとRFIDの技術を組み合わせる事が出来る点が当社の強みです。

### 当社の自慢

私どもは、「i-農業<sup>®</sup>」と銘打って、ICTを利用した農業生産を推し進めており、単に農業関連のシステムを提供するだけではなく、静岡県袋井市にハウスを設けて、自社の社員が実際に農業生産に従事しています。

NFCタグを使った作業管理、UHFタグを使ったトレーサビリティ実験、画像解析を利用したプロジェクトなど、農業+ICTという切り口で様々な取り組みを行っています。



ソフトウェア開発関連	サービスインテグレーション関連	その他
<b>ソリューションサービス</b> 幅広い業種のお客様を対象に、システム企画・開発設計・実装・運用保守まで総合的なソリューションを提供します。	<b>クラウドサービス</b> 自社クラウドを自社クラウドコンピューティングで提供します。お客様は短期間で最適なシステムを利用することができます。	<b>業務改善</b> ITによるビジネスプロセス改善・推進・実施。業務効率の向上・削減も得意です。
<b>ソフトウェア開発</b> お客様のご要望に応じたソフトウェアを開発・実装し、提供します。	<b>プロダクト開発</b> クラウドで提供するシステムやグループウェア等の自社開発も提供します。	<b>システム開発</b> メーカーやベンダーを指定せず、お客様に最適なソフトウェア・ハードウェアを選択し、提供します。
<b>コンサルティング</b> CAW社に基づくソフトウェア開発のプロセス改善の指導や教育。適切なサービスの提供も提供します。	<b>運用サポート</b> お客様のシステム稼働後の運用フェーズをバックアップします。お客様に最適な運用に関するご質問やご相談にも迅速に対応いたします。	

## 株式会社 ブレイン

常務取締役 関 克彦 様

### 会社概要

当社は平成10年4月に設立し、仙台本社、東京支社の2つの拠点で国内への広告事業、自動認識事業の2つの異なる事業を展開しております。

### 私の事業部では

当事業部であるオートID・モバイル事業部では、米国ゼブラテクノロジーの一次代理店として、ゼブラ製バーコードスキャナ、Android搭載ハンディターミナル、UHF RFIDリーダー/ライタ、無線LAN製品等を取り扱っており、生産性の向上、業務の効率化など目的に合せた最適な製品をご提案しております。お客様とのコミュニケーションを大切にする事で、お客様の立場を理解し問題解決に取り組んでおります。また、豊富な業務ノウハウを生かし、各業種に対応した高信頼、高品質なサービスのご提供、システムの企画・立案からプログラム開発、ハードウェア・ソフトウェアの選定、導入、システム保守並びに管理までを総合的に行っております。



本社外観



取扱い製品

ご紹介した企業様の他に  
ジェイエムテクノロジー株式会社、スマートラックテクノロジー香港株式会社にご入会いただいております。2019年5月末日現在の会員数は128社です。

## 自動認識市場規模調査報告書を発刊、配布

2018年1月～2018年12月の自動認識関連機器・サプライ・ソフトウェア等の出荷数量・出荷金額を調査した自動認識市場規模調査報告書を、2019年4月に発刊し、会員企業様及び関係団体様に配布いたしました。本調査「自動認識システムの2018年出荷金額、2019年出荷予測」は、当協会会員企業様を中心にアンケート調査を行い、119社の回答を取り纏めたものであります。

**2018年の自動認識機器市場の出荷金額は、2,460億円で2017年比2.9%増**

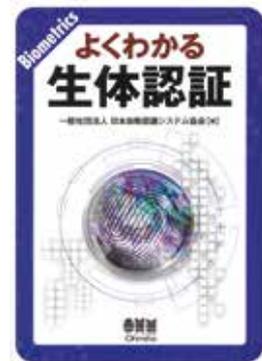
**2019年の自動認識機器市場の予測金額は、2,592億円で2018年比5.4%増**

尚、報告書の内容は、配布いたしました報告書をご覧くださいませようございます。また、当協会のWebサイト会員専用ページにも掲載しております。

## 「よくわかる生体認証 第1版」を発刊(2019年4月)

生体認証は、いまや社会基盤における重要な認証方法として位置づけられています。本技術を導入・開発するユーザや技術者は、最先端の技術を適切に把握する必要がありますとともに、技術のみならず、セキュリティ技術の一環としての理解や、個人情報への扱い、つまり法律、プライバシーなど社会的観点での検討も不可欠です。本書は、上記の観点から、生体認証技術を学ぶ初心者、企業における技術者などを対象として、基本的かつ重要な内容をわかりやすく解説しています。

今後一層の普及拡大が期待されている生体認証技術の正しい理解や効果的な活用にも役立つ内容となっていますので会員企業様のビジネスにご活用ください。書店等での販売(価格2700円)のほか、当協会Webサイトで会員向け(価格2500円送料別)販売をおこなっています。



## 自動認識の基礎知識セミナーのご案内

昨年度より新人、初心者向けの新企画として開始した「自動認識の基礎知識セミナー」を本年度も引き続き実施します。

### ■講座と対象者

講座: バーコード、RFID、バイオメトリクスの各分野  
対象者: どなたでも参加いただけます。特に新入社員、新任担当者の方に最適です。

### ■実施形式

#### 【1】集合方式

開催日: ①4月24日(水)終了、②6月26日(水)終了、③10月18日(金)、④12月12日(木)  
開催時間: JAISA会議室  
講義内容: 「バーコード」、「RFID」、「バイオメトリクス」  
参加料金: [一般価格]2万円/人(税別)、[会員価格]1万円/人(税別)

#### 【2】講師派遣

開催日: ご要望により実施  
開催場所: ご指定場所  
講義内容: 「バーコード」、「RFID」、「バイオメトリクス」の各科目を1講座として、1回の派遣につき2講座以上にて対応  
実施料金: [一般価格]1講座6万円(税別)、[会員価格]1講座3万円(税別)  
講師交通費、宿泊費等は講師人数分を別途ご負担願います(100Km圏内は除く)

### ■お申込み方法

協会ホームページ(<https://www.jaisa.or.jp/seminar.php>)にて詳細ご確認の上、申込書をダウンロードしてご記入の上、基礎知識セミナー事務局宛にお申し込みください。

# 2019年度自動認識技術者 資格認定講習・試験のご案内

2019年度は下記の予定で自動認識資格認定講習・試験を実施します。

2019年度

JAISA  
一般社団法人 日本自動認識システム協会

## 自動認識技術者

### 認定講習・試験

IoTの実現に必須の技術であり、社会インフラとしても様々な分野で活躍する「自動認識技術」は、今や限られた人だけのものではなく、誰もが必要不可欠とする身近なものになっています。

この技術を用いた機器やシステムを活用し、より豊かな社会にするには、技術を開発する人、利用する人が正しい知識を持つことが大切です。当協会では、このような知識を持った人材を増やし、「自動認識技術」の更なる発展と普及を図るべく、技術者資格認定試験を実施しております。

#### 自動認識基本技術者 認定講習・試験

〈バーコード/二次元コード、RFID、バイオメトリクス、標準化〉  
自動認識の基本となる4つの科目を学びます！

第36回 7月5日(金)、6日(土) 東京(早稲田大学 理工学術院)

第37回 8月30日(金)、31日(土) 大阪(マイドームおおさか)

第38回 11月8日(金)、9日(土) 東京(早稲田大学 理工学術院)

#### RFID専門技術者 認定講習・試験

〈自動認識基本技術者がRFIDを深く学ぶための講習・試験です〉

第14回・講習…2020年2月6日(木)～8日(土) 東京(当協会会議室)

・試験…2020年2月15日(土) 東京(当協会会議室)

#### 一般社団法人 日本自動認識システム協会

〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-9-5 FKビル 7F  
TEL.03-5825-6651 FAX.03-5825-6653 E-mail:license@jaisa.or.jp

試験の詳細や受験のお申込みに関しては、下記ウェブサイトをご確認ください。

<http://www.jaisa.jp/licence/index.html>

試験の実施予定等の最新・詳細情報は当協会Webサイトにて公開しております。

URL : <https://www.jaisa.jp/license/index.html>

# 展示会開催のご案内

2019年度は下記の予定で自動認識総合展を開催いたします。

## AUTOID & COMMUNICATION EXPO 第21回 自動認識総合展

2019.9.11<sup>WED</sup>-13<sup>FRI</sup> **ゾーン展示** モバイル&ウェアラブルゾーン  
画像認識ゾーン  
センサネットワークゾーン  
10:00-17:00 東京ビッグサイト 南ホール

スマートモノづくり  
ロボット、ドローン  
スマート小売・物流  
健康・ヘルスケア

コネクテッド・インダストリーズ  
～ 未来をつなぐAUTO-ID ～

主催：一般社団法人日本自動認識システム協会  
入場料：1,000円（事前登録者・招待券持参者は無料）  
併催事業：**B.T Space** 自動認識セミナー

[www.autoid-expo.com](http://www.autoid-expo.com)



公式サイトはこちらから

展示会事務局 (株)シー・エヌ・ティ

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-24-3 FORECAST神田須田町4F TEL. 03-5297-8855 FAX. 03-5294-0909 info@autoid-expo.com

**JAISA**  
JAPAN AUTOMATIC COGNITION SYSTEM ASSOCIATION

### 第17回自動認識総合展 大阪

会期：2020年2月20日（木）～21日（金） 10:00～17:00

展示会場：マイドームおおさか 1階展示場

〒540-0029 大阪府大阪市中央区本町橋2-5

出展申込み開始等の詳細は、当協会 Web サイトや書面でお知らせいたします。

## 今年度協会広報のご紹介

今年度の当協会広告原稿を2点作成いたしました。1点は新元号発表に合わせ「自動認識」の「平成」での発展を振り返るとともに「令和」でのさらなる期待をテーマに、もう1点は暮らしを見守る「自動認識」をテーマとしています。雑誌媒体等に掲載を始めました、ポスターも作成し各種催事でも利用し、「自動認識」技術のPRをはかります。



## 当協会 酒井研究開発センター長

(一社)情報処理学会 情報規格調査会(ITSCJ)より「標準化貢献賞」を受賞。

5月23日ITSCJ第31回規格総会にて、当協会研究開発センター長 酒井 康夫氏が標準化貢献賞を受賞しました。

これは、これまでの「ISO/IEC JTC1/SC37(バイOMETRICS) WG2(テクニカルインターフェース) WG5(技術の試験及び報告)及びWG6(社会的課題)に関する11年以上にわたる活動におけるISO/IEC 24709-3:2011やISO/IEC 19795-2:2007/Amd 1:2015等の複数の規格発行など多くの国際標準化への顕著な貢献や、協会主催の自動認識総合展(東京)や標準化セミナーの中でSC37の国際標準化活動を業界関係者に広く伝える等の標準規格の普及への貢献」が認められたものです。



## 事務局 だより

本年5月22日開催の第9期総会において、理事の改選が行われ、池田会長、西田副会長、春山副会長をはじめとする新体制が発足しました。「平成」の30年で発展した「自動認識」は、新しい「令和」の時代では、「IoT」「Society5.0」「Connected Industries」などますます進化する社会の中で「自動認識」への期待はさらに大きくなることが予想され、当協会の果たす役割も重要になると痛感しています。

新時代スタートに当たり、協会事務局も新たなメンバを加えフレッシュな気持ちで新年度のスタートを切っております。今期も積極的な広報広告活動や、啓蒙活動で「自動認識」の認知度拡大に努めますので、ご支援の程宜しくお願い申し上げます。

